

## ごあいさつ

日本精神衛生会は、精神障害に対する一般の偏見、無知に由来する社会的不利と戦うことを目的に、明治35年(1902)に設立された「精神病患者慈善救済会」に端を発した歴史のある団体です。時代とともに、その活動は精神医療・保健・福祉が抱える問題の重要性を、一般社会に訴える活動にまで広がりを見せており、この「メンタルヘルスの集い」はその活動の一端です。

東京帝国大学の呉秀三教授は、1901年留学から帰国後、日本の精神病患者の酷い状況を目の当たりにして、精神病患者の私宅監置を定める精神病患者監護法を廃し、病者を病院で看る新しい法律の制定を目指しました。そのための実態調査を行い、「精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」を発表しました。その中にある「わが邦十何万の精神病患者は実にこの病を受けたるの不幸の他に、この邦に生まれたるの不幸を重ねるものというべし」という“二重の不幸”の一節は有名です。また、本会の前身「精神病患者慈善救済会」を設立し、貧しい精神病患者への援助や啓発活動などを行いました。精神医療の黎明期に、拘束具の廃止などの改革にも果敢に取り組まれた呉秀三教授は、我が国の精神医療の最も偉大な先駆者といえます。

呉秀三教授が、実態調査の結果を刊行してから、2018年は100周年となります。本フォーラムでは呉秀三教授の実績に詳しい岡田靖雄先生と橋本明先生が対談して、改めて呉教授の業績に光を当てるとともに、シンポジウムを行い、我が国の精神医療の歴史を再検証し、現状を把握し、今後の精神医療、保健、福祉の改善を図る道を考えます。また朝日スクエアにて私宅監置に関する資料展示を行います。多くの方々のご参加を期待しています。

公益財団法人日本精神衛生会 理事長 小島 卓也

公益財団法人 日本精神衛生会  
事務局 〒162-0851 東京都新宿区弁天町91(晴和病院内)  
電話 03-3269-6932 (FAX兼用)  
メールアドレス z-seisin@dc4.so-net.ne.jp  
ホームページアドレス <http://www.jamh.gr.jp>

## 会場地図



有楽町朝日ホール  
朝日スクエアA  
東京都千代田区有楽町 2-5-1  
有楽町マリオン11階  
電話 (03) 3284-0131

## 公益財団法人 日本精神衛生会

### ■ 日本精神衛生会のめざすもの ■

公益財団法人日本精神衛生会は、国民の皆様のメンタルヘルスに対する関心を高め、理解を深めることによって、心身の健康を守り、向上を図るとともに、適応障害を含む精神障害の予防に努め、さらに、精神障がい者の医療および福祉の改善を促進することをめざして、さまざまな活動を行っています。

### ■ 本会の主な事業と活動 ■

- ・広報誌「心と社会」「こころの健康シリーズ」等精神保健福祉関係図書の発行
- ・メンタルヘルスの集い(日本精神保健会議)の開催
- ・全国各地での精神保健シンポジウムの開催
- ・国際精神保健福祉活動への協力

### ■ 入 会 ■

本会は精神医療関係者、心理学関係者、保健・福祉・看護関係者、教育関係者、ボランティア、当事者とその家族、一般市民などから構成されています。

本会の目的、事業の趣旨に賛同される方は、下記のいずれかの会員として入会してください。

- 普通会員 年会費 6,000円(本会出版物毎号1部送付)
- 施設会員 年会費 50,000円(本会出版物毎号3部送付)
- 法人会員 年会費 100,000円(本会出版物毎号4部送付)

### ■ 会員の特典 ■

広報誌「心と社会」(年4回)、「こころの健康シリーズ」など本会出版物の無料送付  
その他、精神保健福祉関連情報の提供

## “二重の不幸”から100年 ～わが国の精神医療がたどった道とこれから～

日 時	平成30年3月3日(土) 10:00~16:00(開場9:30)
会 場	有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11F)
参 加 費	無 料(事前予約不要・先着600名)
対 談	日本の精神科医療における呉秀三先生の業績 岡田靖雄 青柿舎(精神科医療史資料室) 橋本 明 愛知県立大学教育福祉学部教授
フォーラム	“二重の不幸”から100年 ～わが国の精神医療がたどった道とこれから～
主 催	公益財団法人日本精神衛生会
共 催	公益社団法人日本精神神経学会 公益社団法人日本精神科病院協会 一般社団法人東京精神科病院協会 公益社団法人日本精神神経科診療所協会 日本精神保健福祉政策学会 日本精神医学史学会

展 示 会	「精神病患者私宅監置と日本の精神医療史」 9:30~18:00 朝日スクエアA(有楽町マリオン11F)
-------	---



競輪補助事業

<http://keirin.jp>  
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

## 参加対象

一般市民、精神医療・保健福祉関係者、教育関係者他

## 開催趣旨

日本精神衛生会は、メンタルヘルスの集い（日本精神保健会議）を毎年春に朝日ホールで開催しています。

この会議は、「こころ」をめぐる重要な問題について、その都度テーマを掲げて、精神医療・保健福祉の関係者、教育関係者、さらに一般市民、当事者が広く参加し、ともに考え、討論して、今後の課題を話し合う集まりです。

## 後援

厚生労働省

東京都

社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

社会福祉法人NHK厚生文化事業団

公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団

公益財団法人明治安田こころの健康財団

公益財団法人ヤマト福祉財団

## 協賛

公益社団法人日本精神保健福祉連盟

公益社団法人全国精神保健福祉社会連合会

特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会

日本病院・地域精神医学会

日本精神衛生学会

公益社団法人日本看護協会

一般社団法人日本精神科看護協会

公益社団法人日本精神保健福祉士協会

一般社団法人日本臨床心理士会

一般社団法人日本心理臨床学会

一般社団法人日本作業療法士協会

特定非営利活動法人メンタルケア協議会

公益社団法人日本医療社会福祉協会

日本精神障害者リハビリテーション学会

きょうされん

一般社団法人日本児童青年精神医学会

一般社団法人日本発達障害ネットワーク

一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会



## プログラム

- 10:00 主催者挨拶  
小島 卓也 公益財団法人日本精神衛生会理事長  
来賓挨拶  
宮崎 雅則 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長  
神庭 重信 公益社団法人日本精神神経学会理事長  
山崎 學 公益社団法人日本精神科病院協会会長
- 10:30 ドキュメンタリー映画（予告編）  
「夜明け前—呉秀三と無名の精神障害者の100年」
- 10:45 対談  
「日本の精神科医療における呉秀三先生の業績」  
岡田 靖雄 青柿舎（精神科医療史資料室）  
橋本 明 愛知県立大学教育福祉学部教授
- 紹介  
広瀬 徹也 公益財団法人日本精神衛生会監事
- 12:00 休憩
- 13:15 フォーラム  
“二重の不幸”から100年  
～わが国の精神医療がたどった道とこれから～
- シンポジスト  
樋口 輝彦 国立精神・神経医療研究センター名誉理事  
日本うつ病センター理事長  
山本 輝之 成城大学法学部教授  
田中 秀一 読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員  
山本 深雪 認定NPO法人大阪精神医療人権センター副代表  
柏木 一恵 公益社団法人日本精神保健福祉士協会会長
- 指定討論  
平川 淳一 一般社団法人東京精神科病院協会会長  
本條 義和 公益社団法人全国精神保健福祉社会連合会理事長
- コーディネーター  
夏苺 郁子 やきつべの径診療所  
藤井 克徳 日本障害者協議会代表
- 15:50 所感・閉会の辞  
牛島 定信 公益財団法人日本精神衛生会顧問
- 16:00 終了  
総合司会 池田 真理 東京女子医科大学教授

## 対談

### 「日本の精神科医療における呉秀三先生の業績」



岡田靖雄氏  
精神科医  
青柿舎（精神科医療史資料室）



橋本 明氏  
愛知県立大学教育福祉学部  
社会福祉学科教授

## 展示会「精神病患者私宅監置と日本の精神医療史」

日時 平成30年3月3日（土） 9:30～18:00

会場 朝日スクエアA（有楽町マリオン11F）

展示内容 呉秀三は、櫻田五郎ら東大精神病学教室の助手・副手らに明治43（1910）年から大正5（1916）年にかけて1府14県で364の私宅監置室を視察させた。その構造や監置患者の待遇などの状況をまとめて、大正7（1918）年に「精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」として刊行した。それは、単に「私宅監置の悲惨さ」を伝えるだけではなく、当時の精神医療制度の実際や、患者と家族や地域社会との関係など、近代日本の精神医療の多様な側面を浮き彫りにしている。

本展示会では、刊行から1世紀となるこの呉秀三らの調査を含む私宅監置と精神医療の歴史に関するポスター、および私宅監置の状況を伝える写真パネルとその解説を展示する。これを契機に、わが国の精神医療・精神保健の過去を振り返り、これからの精神医療・精神保健を考える議論に活力を与えることを目指している。

参加費は無料です。どなたでもご自由にご参加いただけます。